

会 社 説 明 会

目 次

- 1.カントー橋事故報告・・・ 2
- 2.最近の営業成果・・・ 4
- 3.中期経営計画・・・ 9
- 4.長大トピックスの紹介・・・ 17
- 5.お知らせ・・・ 23

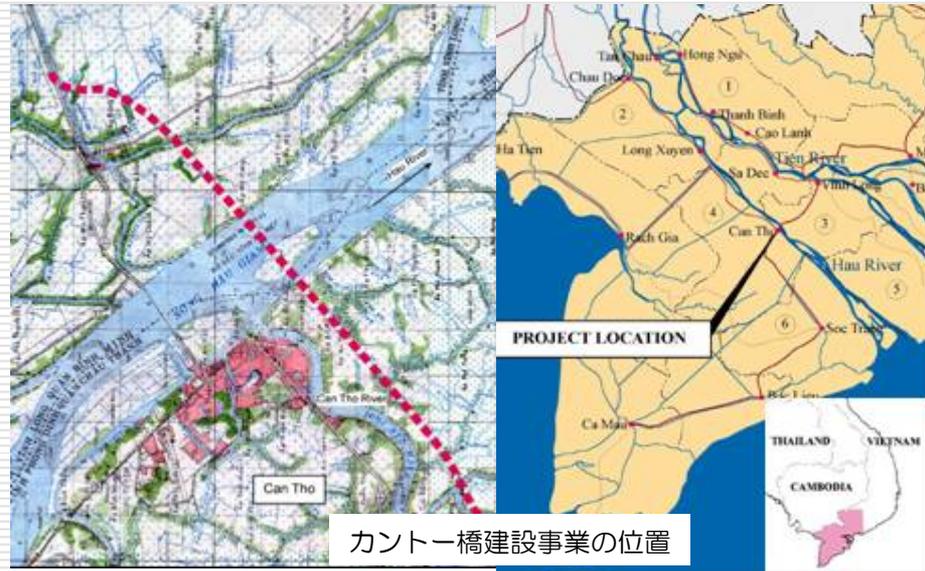
2007.12.3



株式会社 長大

1. カントー橋事故報告

2007年9月26日ベトナム現地時間7時55分、日本工営株式会社と当社のJVによる施工監理コンサルタント業務を実施している「カントー橋」において、仮設工の崩落により、施工中の橋げたの一部が落下する事故が発生しました。



(1) 当社の対応

◆当社の対応

- ・ 現地駐在の社員による被災者の救出活動支援
- ・ カントー橋事故対策委員会設立（社内）
- ・ ベトナム政府の調査委員会への支援（専門家の派遣）
- ・ 会社見舞金及び社内有志の義捐金による被災者への支援

この事故により亡くなられた方々に心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げるとともに、ご遺族の皆様には謹んでお悔やみを申し上げます。また、負傷された方々には一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

当社としましては原因究明と再発防止に向けて、誠心誠意取り組んでまいります。

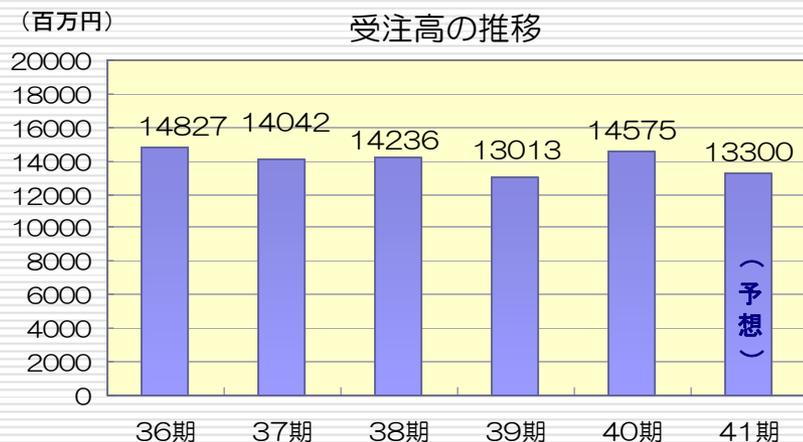


事故直後の様子

2. 最近の営業成果

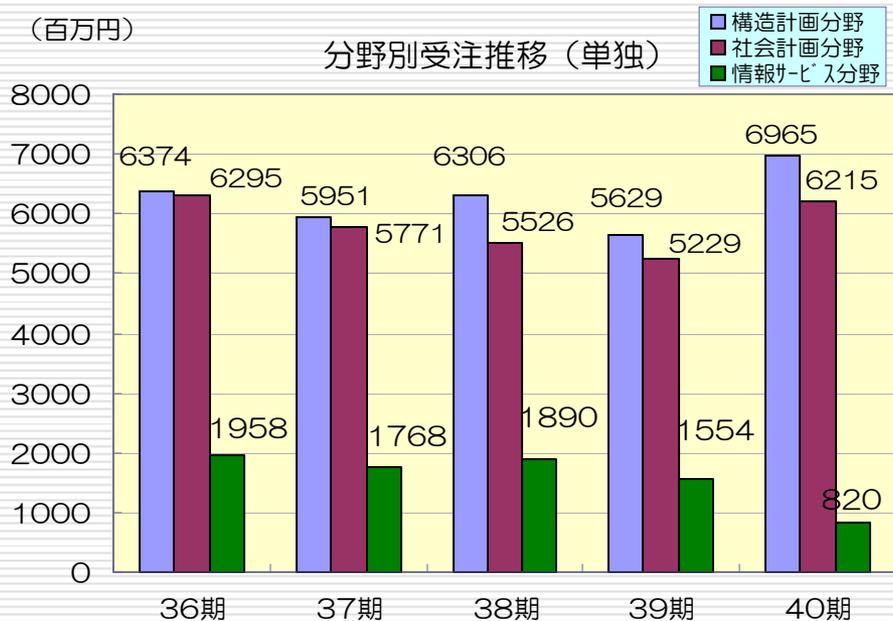
- (1) 業績及び今後の見通し（連結）
- (2) 分野別受注の推移
- (3) 顧客別受注の状況
- (4) プロポーザル特定率および受注率の推移

(1) 業績及び今後の見通し (連結)



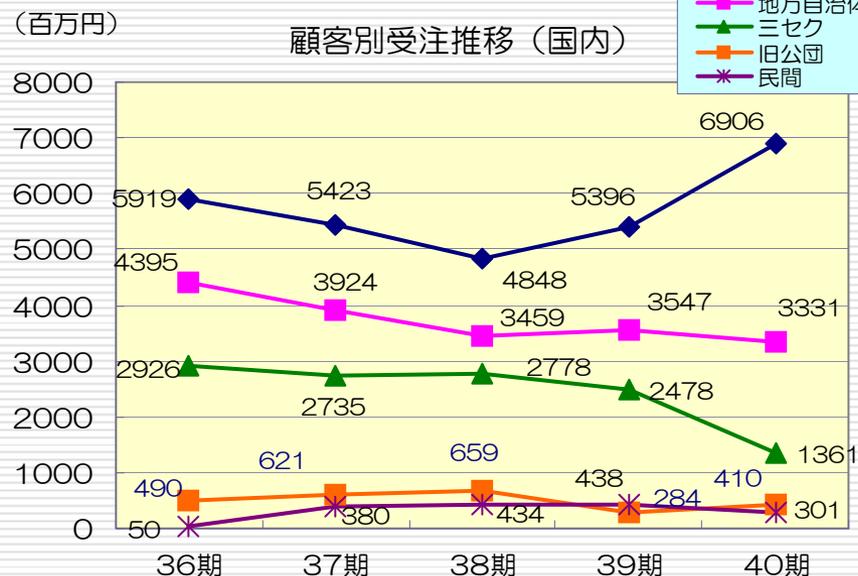
(2) 分野別受注の推移

◆ 構造・社会計画分野は増加、情報サービス分野は減少



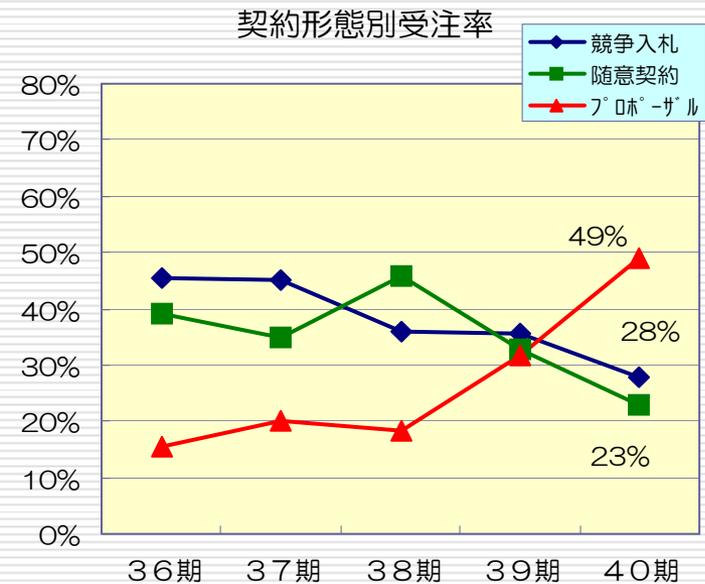
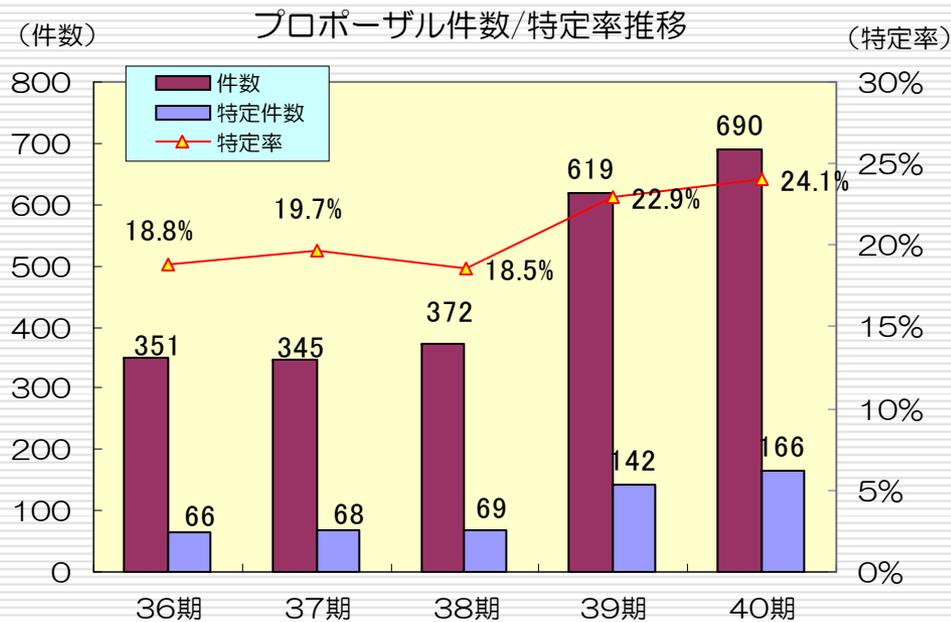
(3) 顧客別受注状況

- ◆海外は大型案件により増加
- ◆国内は横ばいで推移（自治体は回復せず横ばい）
- ◆国土交通省は大幅に増加（要因はプロポーザル増加）



(4) プロポーザル特定率及び受注率の推移

- ◆39期よりプロポーザル件数が大幅増加
- ◆受注率も大幅増加（目標60%）



2. 中期経営計画

- (1) 長期経営ビジョン
- (2) 長期経営方針
- (3) 経営目標と達成手段
- (4) 長期事業戦略
- (5) 中期経営方針
- (6) 行動計画（3プロイノベーション）
- (7) 数値目標

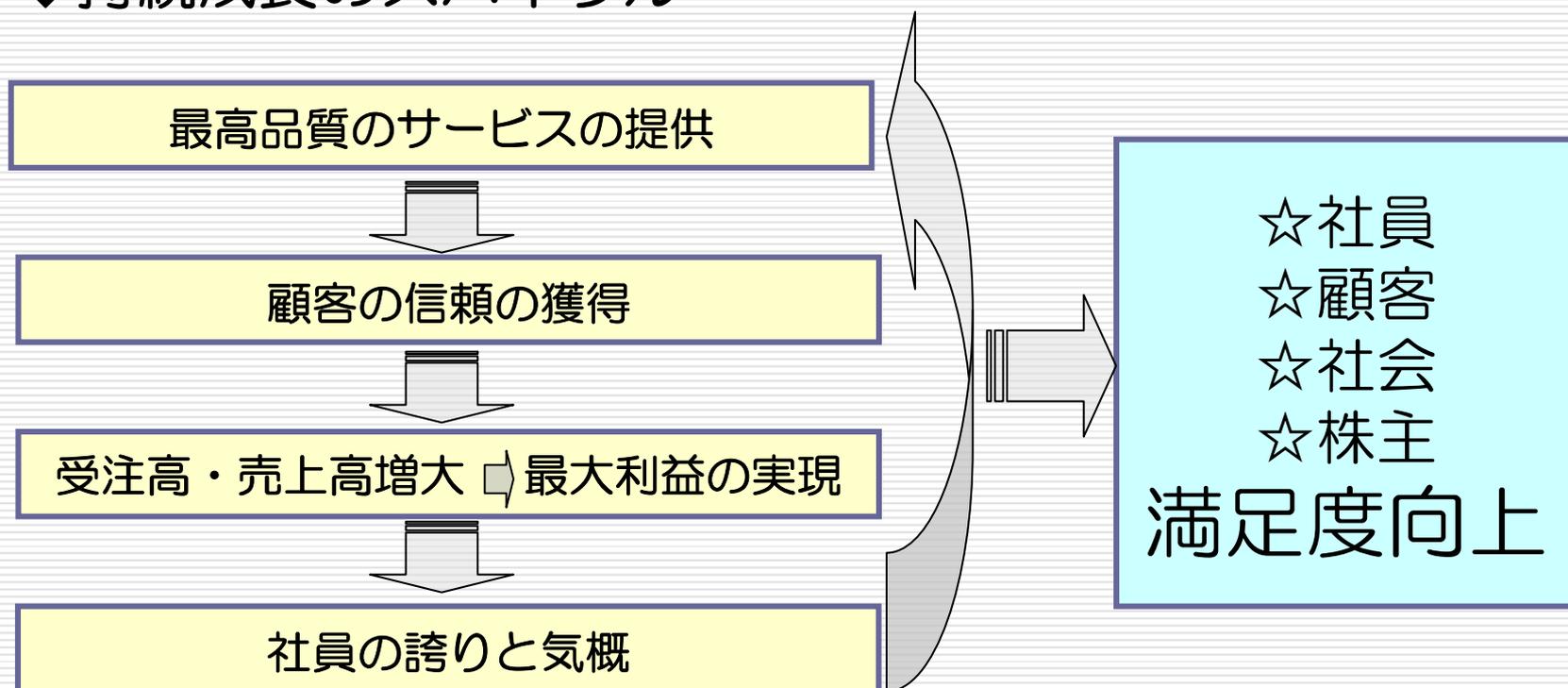
(1) 長期経営ビジョン

人・夢・技術

- ☆ 「人」 : 社員・顧客・株主・国民（社会）
- ☆ 「夢」 : 「人」の幸福・満足・信頼
- ☆ 「技術」 : 「夢」を適える専門技術・マゼット技術
・ コミュニケーション技術

(2) 長期経営方針

◆持続成長のスパイラル



(3) 経営目標と達成手段

◆経営目標

持続成長を支える最高品質のサービスを提供する



◆達成手段

- ① 品質による事業拡大
- ② コンサルティング営業の確立
- ③ コーポレートガバナンスの品質向上
- ④ 自立したコンサルタント技術者の育成

(4) 長期事業戦略

◆国内事業の強化

⇒顧客ニーズの「専門化」「多様化」「総合化」への対応

◆海外事業と民間事業の強化

⇒海外事業は「グローバル化対応」と「技術の継承」

⇒民間事業は「民間市場展開」と「事業のリスク分散」

◆関係会社事業の拡大

⇒「新規ベンチャー」と「事業効率化」

◆新市場への展開

⇒「土木以外の社会資本分野市場開拓」

(5) 中期経営方針

◆長大持続成長プラン2007
持続成長に向かって — 自立と信頼 —



- ☆顧客に信頼される自立したコンサルタント
 - ☆足腰の強い持続成長
 - ☆選ばれるコンサルタント
- 

長大3プロイノベーションの実行

(6) 行動計画（3プロイノベーション）

◆プロフィットイノベーション

- ・ 国内事業の強化と新展開
- ・ 海外事業と民間事業の強化
- ・ 関係会社の成長

◆プロセスイノベーション

- ・ 生産体制の改善による高品質低コストの実現
- ・ コンサルティング営業の意識改革と体制整備
- ・ リスク管理の品質向上

◆プロフェッショナルイノベーション

- ・ 社員の充実と人材育成の強化
- ・ 多様な将来像が描ける人事評価制度

(7) 数値目標

◆3年間の数値目標

☆売上高（単独）：140億円

☆売上高（連結）：150億円

☆営業利益率：5%

☆プロポーザル受注率：受注金額の60%

4. 長大トピックスの紹介

- (1) 韓国建設交通技術評価院とMOUを締結
- (2) 海外大型プロジェクト受注
- (3) 産学研究成果（新世代オンデマンドバスシステム）
- (4) GISの最先端業務受注
- (5) 国土交通省関東地方整備局発注業務の受注額トップ

(1) 韓国建設交通技術評価院とMOUを締結

韓国建設交通部（MOCT）内の韓国建設交通技術評価院と、社会資本整備に関する最先端技術の研究への技術や情報等の相互協力について、MOU（覚書）を締結しました。（MOU締結日：2006年12月6日）

当社は「The Value Creator」プロジェクトを構成する10の戦略プロジェクトの中で、「長大橋梁技術部門」での協力が期待されており、当社のこれまでの多くの経験と高い技術力が認められたものと考えております。

◆実績例



(2) 海外大型プロジェクト受注

ベトナム国より、ニャッタ橋建設プロジェクトコンサルタント業務を大日本コンサルタント(株)と共同受注。完成は2010年10月のハノイ遷都千年記念を目指しており、日越友好のシンボルと期待されています。

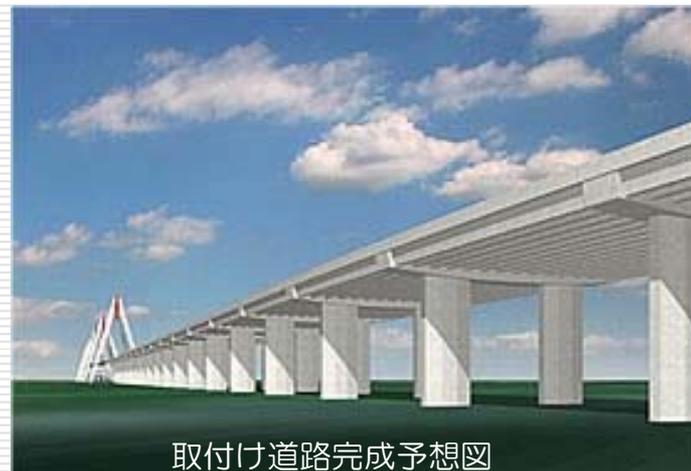
◆受注金額：約17億5千万円

◆プロジェクトの内容：

ハノイ市内の紅河に架かる橋梁及びその取付け道路等を一体で整備し、その調査・設計・入札支援・施工監理業務を担当します。



ニャッタ橋（斜張橋）完成予想図



取付け道路完成予想図

(3) 産学研究成果(新世代オンデマンドバス)

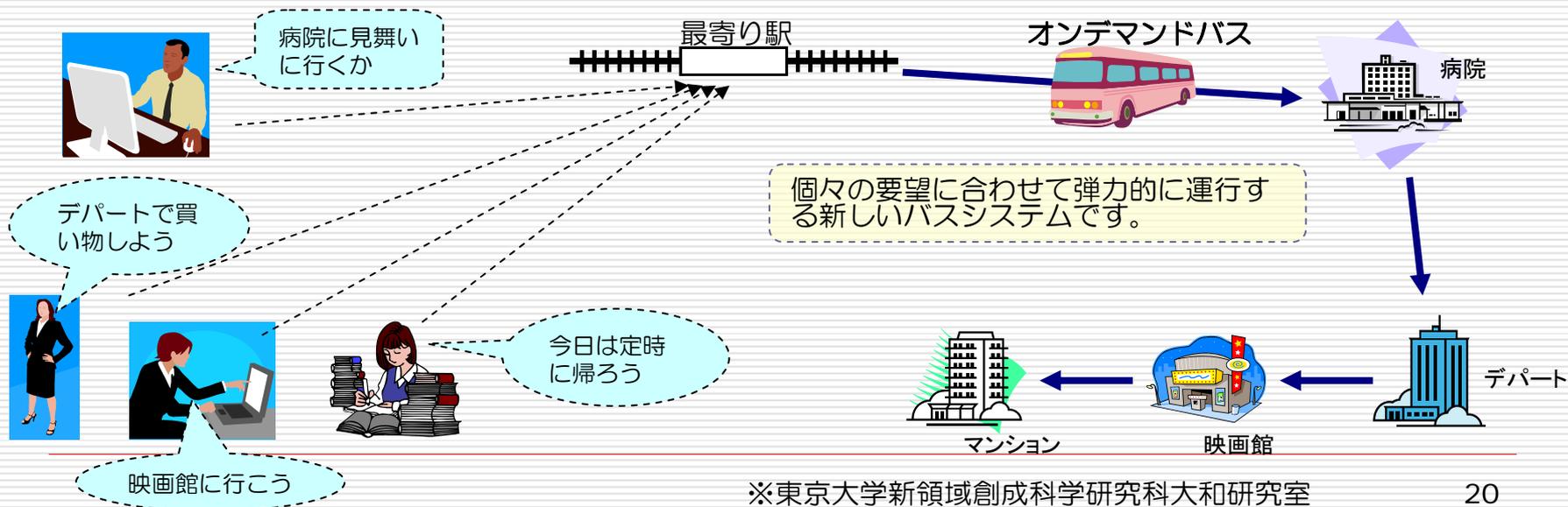
◆東京大学とのコラボレーション

東京大学※が開発した予約時に指定した到着時刻を保証する「オンデマンドビークルシステム」と、当社の事業ノウハウが結合した「次世代オンデマンドバス」です。

◆特徴

☆従来のオンデマンドバスの「システム購入型」ではなく「サービス購入型」です。

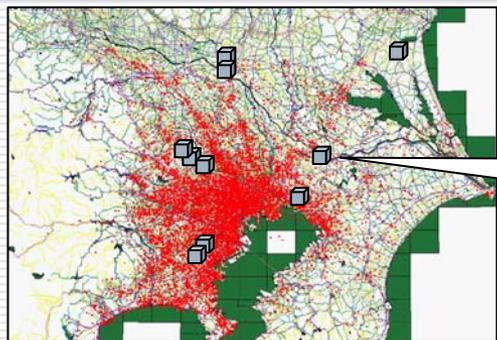
☆自治体の財政負担を最小限に抑え、地域の公共交通を支援します。



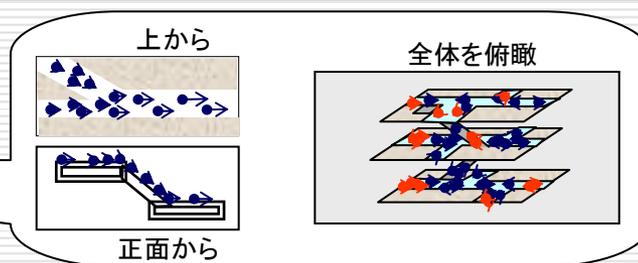
(4) GISの最先端業務受注

◆国総研より「四次元GIS」に関する業務を受注

複雑な都市空間の人の動きを俯瞰するには、従来の二次元的な位置情報に加えて、時間や高さを加えた位置情報（四次元GISデータ）を把握することが重要です。このための、四次元GISデータを効率的に処理するためのプラットフォームの開発を進めています。

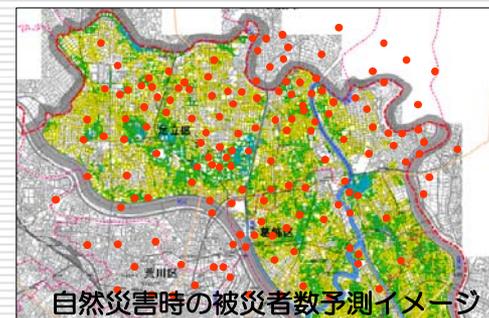


◆利用イメージ



◆今後の活用場面

- ・交通渋滞の緩和策
- ・自然災害時の被災者数や帰宅困難者数の予測
- ・自然環境保護の対策検討
- ・出店計画等のエリアマーケティング等



(5) 国土交通省関東地方整備局発注業務の受注額トップ

関東地方整備局の「プロポーザル方式」を適用した業務の受注実績が発表され当社が1位となりました。

※（2007年4月～7月に契約した建設コンサルタント業務）

☆当社の高い技術力が評価されたものと考えます。

5. お知らせ

◆当社株券等の大規模買付行為に関する対応策の導入について

☆導入目的

当社取締役会は、当社株券等の大規模買付行為を行なおうとする者が遵守すべきルールを明確にし、株主の皆様が適切な判断をするために必要かつ十分な情報及び時間、並びに大規模買付行為を行なおうとする者との交渉の機会を確保するために、買収防衛策を導入することといたしました。

☆導入スケジュール

- ・平成19年11月13日の取締役会において、当社株券等の大規模買付行為に関する対応策を導入することに関して決議しました。
- ・平成19年12月21日開催予定の当社定時株主総会に、買収防衛策の導入および本プラン導入に伴う定款変更についての議案を提出する予定です。



株式会社 長 大